

無血清培地

for T

iMediam

再生医療等製品材料適格性確認書取得

Tリンパ球の無血清培養が可能

異種成分不含

GMP準拠の施設で製造



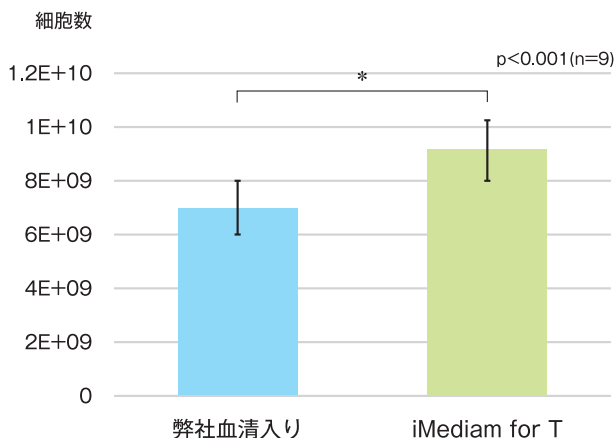
リンパ球培養のパイオニア

**LYMPHOTEC Inc.**

<http://www.lymphotec.co.jp>



## ■ 弊社にて現在使用中の血清入り培地とiMediam for T との性能比較 (培養14日目)

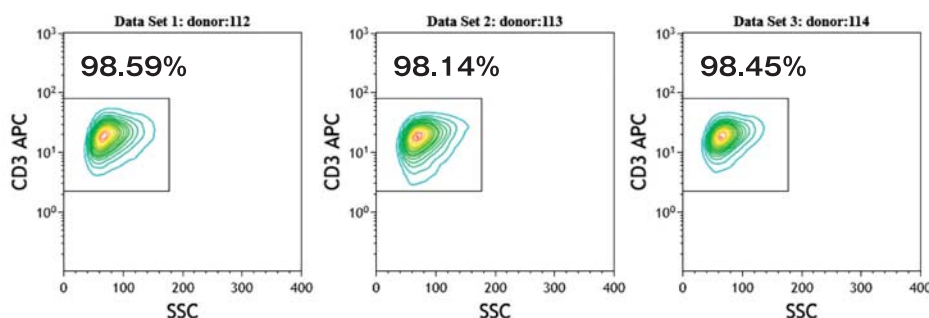


インフォームドコンセントの得られた健康人9名の血液より末梢血単核球 (PBMC) を分離し、弊社の血清入り培地とiMediam for T (無血清) で培養比較を行った。培養5日目まではOKT3抗体固相化フラスコで培養し、その後はガス透過性培養バッグに移し、計14日間培養した。最終的な液量は2,000mLとした。

### 試験プロトコール iMediam for T



## ■ 表面抗原解析



インフォームドコンセントの得られた健康人3名のPBMCをiMediam for T (無血清) で14日間培養した後、Tリンパ球の指標であるCD3陽性細胞の割合をフローサイトメーターで測定した。3検体ともCD3の割合が98%以上であり、Tリンパ球が選択的に増殖していることがわかる。

## ■ 仕様

- \*適用/ヒトTリンパ球 \*保存条件/冷暗所 (2-10°C)
- \*無菌検査/○エンドトキシン: 比色法 ○マイコプラズマ: 培養法 ○真菌、細菌: カンテン平板表面塗抹法
- \*操作手順/①OKT3抗体固相化フラスコ225を準備する。②3~5×10<sup>7</sup>個のPBMCを30~50mLのiMediam for Tに懸濁させる。③細胞増殖状態に応じて適切な量のiMediam for Tを添加する。④培養5~7日後、細胞懸濁液をガス透過性の培養バッグに移し、適切な量のiMediam for Tを追加し、さらに2~3週間培養を続ける。培養状況に応じて適切に培養バッグの数を増やす。
- \*注意事項/○人体には使用しないでください。○当社は、本製品の使用に起因する事故や損害についての責任を負いかねます。
- 使用に関してご不明な点がございましたら、(株)リンフォテックまでご連絡ください。

製品コード	製品名	用途	容量
iM-T	iMediam for T	ヒトTリンパ球培養	1,000ml

### リンパ球培養のパイオニア

# LYMPHOTEC Inc.

<http://www.lymphotec.co.jp>

株式会社リンフォテック

〒135-0041 東京都江東区冬木18-4

TEL:03-3630-2530 FAX:03-3630-2531

E-mail: info@lymphotec.co.jp

